



新政会
山口 清悦
議員

消費増税に対する対策について

質問 平成26年4月から消費税が8%に上がる。国では消費増税に対する経済対策として5兆5、000億円の補正予算を発表した。これに関して、本市としてどのような対応を考えているのか。また、市全体の経済活動の停滞を招かないために、切れ目のない対応をどのように考えているのか。そして、市長として1期目の締めくくりの予算となる平成26年度に向けて、マエダミクスと言われるように市政運営の意気込みについて伺う。

答弁 公共事業のみならず、高齢者、低所得者対策の必要性を感じています。このような状況を踏まえ、寒冷地特有の高齢者等への生活支援対策を本定例会の最終日に提案できるように準備しています。また、来年度予算は厳しい状況ですが、最大限地域の活性化に繋がるよう一体的に切れ目のない予算編成をしていきます。

公衆無線LANの環境整備について

質問 京都や福岡など自治体による公衆無線LANの整備が進んでいる。住民の安心・安全を守るために、平時はもちろん災害時にも防災情報ステーションとして大きな効果を発揮すると思われる。平成26年度の総務省の概算要求の中で40億7、000万円の予算がついている。早期に導入すべきではないか。

答弁 東日本大震災では多くの地域で携帯電話回線が繋がらない、もしくは繋がりにくいという状況が発生しました。その場合、もう一つの無線インフラとして注目されているのが、公衆無線LANであることは認識しています。本市では災害時住民サービスの向上のため、ソフトバンクWi-Fiスポットという無線LANを平成25年5月に市内の避難所に設置しました。災害時においては通信各社の端末にも開放されます。防災情報ステーション等整備事業については、今後とも情報収集に努め適切に対応していきます。



新政会
坂井 英明
議員

滝川市商店街等賑わいづくり事業について

質問 商店街等賑わいづくり事業で実施した「シャッター街といわせない！」事業の評価と次年度以降の考えについて伺う。

答弁 事業の目的とする市民が商店街等に「集い」、「賑わう」環境づくりが一定程度図られたものと評価しています。次年度に向けても事業を継続したい考えですが、より多くの市民が商店街等に「集い」、「賑わう」環境づくりを進めるために、商業者自らが発意、企画する「人を歩かせ」、「人を引き込む」個性あふれる事業を支援し、「賑わい」を点から線へ、線から面へと広げていきたいと考えています。

まち自慢のパークゴルフ場整備計画について

質問 市民と市外の方の予定利用料金が違う設定になっている理由

について伺う。

答弁 利用者の皆さんには応分の負担をお願いしたいと考えています。その中で、一定の品質を保つ、運営経費を賄う、将来の整備拡充に対応する、満足感を持つてもらえる、市民への利用還元を図るということを基本方針として、利用料金を試算したところです。

利用料金については、パークゴルフ場の運営を可能とすることを基本としつつ、利用しやすい料金体系を設定できないか、さらに検討を進めていきます。

子育て支援策について

質問 近年行ってきた子育て支援策が出生数に結びついていないと思うが、要因について伺う。

答弁 本市の子育て支援策は、出産そのものを奨励し誘導する施策ではなく、本市で生まれた子どもたちの健やかな成長を助長するためのもので、間接的に出生数を押し上げる効果を期待するものです。結果的に出生数に結びついていないのが現実ですが、今後も子育ての負担感を軽減させる施策を推進したいと考えています。